

倫理問題

(令和 4 年度 国際信州学院大学法学部)

【注意事項】

1. 試験時間は 100 分である。
2. 試験開始の合図まで、この問題冊子を開いてはいけない。ただし、表紙はあらかじめよく読んでおくこと。
3. 問題冊子に落丁、乱丁、印刷不鮮明な箇所等があった場合および解答用紙が不足している場合は、手をあげて監督者に申し出ること。
4. 試験開始後、解答用紙の所定の欄に、受験番号と氏名を記入すること。
5. 回答は必ず解答用紙の指定された箇所に記入すること。解答用紙の裏面に記入してはいけない。
6. 解答用紙を切り離したり、持ち帰ってはいけない。
7. 問題冊子の中の白紙部分は下書き等に使用してよい。
8. 試験終了時刻まで退室を認めない。試験中の気分不快やトイレ等、やむを得ない場合には、手をあげて監督者を呼び指示に従うこと。
9. 試験終了後は問題冊子を持ち帰ること。

1 「為せば成る、為さなくてもなるようにはなる」という主張に関して、「為す・なる」とは何を指すのかをあなたなりに定義した上で、「為すべきか」という問いについて倫理学の観点から論じなさい。

2 以下に示す語句の中から3つを選び、その要旨をそれぞれ説明しなさい。

- i. 純粋経験
- ii. アパテイア
- iii. 一般意志
- iv. 脱構築
- v. アンガージュマン
- vi. 四端

3 ドゥルーズ、ガタリが『アンチ・オイディプス』においてフロイトの学説に対して行った論説がどのようなものであったか整理しなさい。

4 著作権保護に関して、アメリカの法学者レッシングは保護期間延長の登録・更新制を提案している。これについて論じた以下の文章を読み、その内容に対するあなたの意見を自由に述べなさい。

この問題は、著作権の都合により掲載ができません。

(出典：ファインダー・伊藤『Sur les volets — やり過ごすための民事訴訟入門』)

